

【JST 女子中高生の理系進路選択支援プログラム】
「香川大学ダイバーシティ&サイエンス 理系選択応援プロジェクト」
香川大学&ブルネイ・ダルサラーム大学
“グローバル×サイエンス” 教員向け研修会実施報告

日 時:2024年8月6日(火) 9:25~12:25
会 場:香川大学教育学部8号館 3F 調理学実習室
講 師:Nik Ani Afiqah binti Hj Mohamad Tuah
(ブルネイ・ダルサラーム大学シニア講師、生涯学習センター副センター長)
Dk Ratna Suriani Pg Haji Osman
(ブルネイ・ダルサラーム大学講師、SHB 教育研究所)
哇 五月 (香川大学教育学部教授)
高木由美子 (香川大学教育学部教授、ダイバーシティ推進室長)
参加者数:教員6名

香川県教育センター専門研修令和6年度食育プログラム研修講座と、JST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム 香川大学ダイバーシティ&サイエンス理系選択応援プロジェクト」合同事業 ~教員向け研修会として、ブルネイ・ダルサラーム大学教員を招聘しました。

第1部では、香川県内の理科教育をリードする本学教育学部の高木氏がロールモデルとして登壇し、ブルネイ・ダルサラーム大学のNik氏から、ブルネイの教育事情について、レクチャーが行われました。第2部では、ブルネイ伝統料理（アンバヤット）の調理実習を行い、マイクロクレデンシャル（授業の細分化）の手法で科学と料理の関連性を学びました。次に哇氏（香川大学教育学部）による糖質に関するレクチャーと希少糖を使ったわらび餅の調理実習を行いました。

アンケートでは、「実際に体験することで生徒たちにも魅力を伝えやすくなった」「ブルネイとの文化的交流が大学ででき、なおかつ教員の学びもあり、このような機会が持ててよかった」（教員）といった声が寄せられました。



ブルネイに関するレクチャー



調理実習の様子（アンバヤット（左）、わらび餅（右））

